

畜産みやぎ

題 字
宮城県知事 村井嘉浩
発行所
仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号 一般社団法人 宮城県畜産協会 電話 022-298-8473
編集発行人
佐々木 琢 磨
印刷所
(株)東北プリント



第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会 肉牛の部 宮城県最終選考会
(令和4年8月24日 美里町 みやぎ総合家畜市場)

もくじ

CONTENTS

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会肉牛の部の代表牛が決定しました……………2-3	衛生便り……………9
農林水産祭参加第62回仙台牛枝肉共進会の開催について……………3	New face……………9-11
第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会に向けた抱負……………4-5	一般社団法人宮城県畜産協会 新役員のお知らせ……………12
こだわり県産たまご・豚肉活用商品販売会のご案内……………6	価格安定対策事業の発動状況について……………12
畜試便り……………7	
令和5年度宮城県農業大学校入校生を募集(一般入校試験前期)……………8	
農業大学校生の抱負……………8	



みやぎの
畜産情報
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <http://miyagi.lin.gr.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会「肉牛の部」の代表牛が決定しました

宮城県農政部畜産課
(第12回全国和牛能力共進会宮城県出品対策協議会)

令和4年10月6日から鹿児島県で開催される第12回全国和牛能力共進会（以下「鹿児島大会」）の宮城県最終選考会肉牛の部（にくぎゅうのぶ）が、8月24日にみやぎ総合家畜市場で開催されました。全共の肉牛の部は、24ヶ月齢未満での出品が条件となっています。そのため、宮城県の平均出荷よりも約6ヶ月短縮された肥育期間で仕上げなければならず、通常の肥育技術とは違う高度な飼養管理技術が必要となります。また、鹿児島大会の肉牛の部は、以下の視点で出品区分が設定されています。

第6区総合評価群（父牛：洋糸波）は、地域の改良の中核を担う種雄牛の産子について、肉量や肉質など産肉能力を評価する肉牛群と、体型や繁殖能力など種牛性を評価する種牛群を総合的に評価し、斉一性の高さや地域の改良の成果を確認するものです。

第7区脂肪の質評価群（父牛：茂福久）は、鹿児島大会から新設され、脂肪交雑では、BMS No8～12で同じ得点が付与され、和牛肉の口溶けや風味に關与するオレイン酸などの一価不飽和脂肪酸割合について審査の重み付けを強化し、和牛肉の新たな価値基準の醸成と定着を目指すものです。

第8区去勢肥育牛（父牛：茂洋美）は、改良を進めた和牛の能力と洗練された肥育技術により、和牛の魅力を引き出すことを目指すものです。

最終選考会では、令和3年5月の引き渡しから、高度な早期肥育技術により飼養されてきた合計23頭の候補牛について、巡回調査時の血液検査や体尺測定、超音波肉質診断及び当日の生体審査に基づき厳正な審査が行われました。その結果、第6区及び第7区において各3頭、第8区において1頭の合計7頭が代表牛に選ばれ（表1、写真1～3）、7月9日に決定した種牛（しゅぎゅう）の部及び特別区の代表牛14頭とあわせて、宮城県代表牛21頭が決定しました。鹿児島大会では種牛の部、肉牛の部それぞれで日本一を獲得できるよう、引き続き取り組んでまいります。

表1. 鹿児島大会第6区肉牛群及び肉牛の部の宮城県代表牛

出品区分	名号	父牛	母の父	母の祖父	住所	出品者
第6区 総合評価群肉牛群	英伍乃伍	洋糸波	勝忠平	第1花国	登米市	金野 康
	紅葉	洋糸波	安福久	金幸	栗原市	鈴木 教一
	洋糸436	洋糸波	安福久	百合茂	登米市	村田 敏顕
第7区 脂肪の質評価群	福百合	茂福久	百合茂	安福久	大和町	根元ファーム
	茂福百合	茂福久	百合茂	安福久	角田市	ばば農場
	北大星	茂福久	百合茂	安福久	川崎町	ライフルファーム菅生
第8区 去勢肥育牛	朝洋美	茂洋美	諒太郎	美国桜	大崎市	菅野 豊博



写真1 第6区「総合評価群」 左から「英伍乃伍」号、「紅葉」号、「洋糸436」号



写真2 第7区「脂肪の質評価群」左から「福百合」号、「茂福百合」号、「北大星」号



写真3 第8区「去勢肥育牛」
「朝洋美」号

桃頂点へ！



仙台牛PRキャラクター
牛政宗くん

(生産振興班 渡邊 智)

農林水産祭参加第62回仙台牛枝肉共進会の開催について

全農 宮城県本部 畜産部

農林水産祭参加 第62回 仙台牛枝肉共進会を下記の内容にて開催することとなりました。

新型コロナウイルス、ロシアのウクライナ侵攻により、不安定な国際情勢による物価高の影響で、畜産業界は深刻な打撃を受けており、いつ回復するのか、出口が分からない状況が続いております。仙台牛を生産する農家、1人1人に対してもその負担は重くのしかかり、経営を非常に圧迫しております。

このような状況下で開催する本共進会は、仙台牛の改良意欲の高揚、並びに生産肥育技術の向上を図り、市場流通の確立と生産農家の経営安定化に繋がる共進会として開催いたしますので、少しでも多くの方にご参観くださるようご案内申し上げます。

1. 会期及び場所

- (1) 会期 令和4年11月6日(日)～8日(火)
- (2) 場所 仙台市中央卸売市場食肉市場(仙台市宮城野区扇町六丁目3番6号)

2. 出品区分及び条件

- (1) 肥育の完成されたものとする。(ただし、瑕疵のある枝肉は審査対象外とする。)

部	品 種	区 分	条 件
第1部	黒毛和種	去 勢	枝肉重量450kg～700kg
第2部	黒毛和種	雌	枝肉重量380kg～600kg

- (2) 出品牛は出品者において12ヶ月以上飼養され最長飼養地が県内のものとする。
- (3) 出品牛は血統明確なもので、これを証明する書類(子牛登記書等)を有すること。

3. 出品頭数及び屠畜・販売日

部	品 種	区 分	頭 数	屠 畜 月 日	販 売 月 日
第1部	黒毛和種	去 勢	110	11月7日	11月8日
第2部	黒毛和種	雌	40	11月7日	11月8日
計			150		

(生産販売課 酒巻岳仁)

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会に向けた抱負

全農 宮城県本部 畜産部
(第12回全国和牛能力共進会宮城県出品対策協議会)

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会へ向けた宮城県最終選考会が、種牛の部は7月8日・9日に、肉牛の部は8月24日に美里町 みやぎ総合家畜市場にて開催され、全21頭の宮城県代表牛が決定いたしました。

前大会の宮城大会では、第2区 若雌の1で悲願の日本一の獲得をはじめ、多くの上位入賞を果たしました。

鹿児島大会では、前大会以上の成績を勝ち取るべく、出品者の皆様から鹿児島大会に向けた抱負をいただきましたので、ご紹介いたします。

第1区 (若雄) 出品者

宮城県畜産試験場

種雄牛造成は多くの皆様のご協力で成り立っております。感謝申し上げます。

今大会ではみどりの育種組合の皆様の御協力で生産された「誠平勝」号とともに上位入賞を目指します。

第2区 (若雌の1)・第4区 (繁殖雌牛群) 出品者

登米市 小野寺 正人さん

5年に一度、全国の和牛を一堂に集めて優秀性を競う「全国和牛能力共進会」。PRIDE&CHALLENGEを忘れることなく、地域の方々・各関係機関の力を得て、必ず2連覇をつかみ取ります。

第3区 (若雌の2) 出品者

大崎市 後上 藤三さん

全共出品は3度目となりますが、自分の名前での出品は初めてとなります。毎日毎日、手入れや運動で大変だと感じる事も多々ありますが、その積み重ねが全共上位入賞に繋がると信じて頑張ります。応援宜しくお願いします。

第4区 (繁殖雌牛群) 出品者

登米市 伊藤 博幸さん

地域のみなさんをはじめ、多くのご協力により出品できることに感謝申し上げます。1つでも上位に入賞できるように頑張ります。

第4区 (繁殖雌牛群) 出品者

登米市 チバズファーム株式会社さん

全共出品に向け、たくさんの方々に協力していただき、代表牛に選ばれることができました。宮城全共での成果を継続して、みんなの前へ進めるよう頑張ります!!!

第5区 (高等登録群) 出品者

涌谷町 浜田 政美さん

初めての出品となりますが、多くの方々に支えられてここまですることができ、感謝しています。牛の良さをアピールできるように頑張ります。

第5区 (高等登録群) 出品者

大崎市 菅原 正博さん

初めての出品となりますが、先輩方や指導員さんをはじめ、沢山のご協力をいただき感謝しています。上位入賞に向けて頑張ります!!

第6区 (総合評価群・種牛群) 出品者

栗原市 熊谷 明俊さん

これまでの皆様のご協力に感謝申し上げます。宮城・栗原の代表として、出品牛・出品関係者一丸となり、日本一を目指して頑張りますので、応援よろしくお願いします。

第6区 (総合評価群・種牛群) 出品者

栗原市 栗原 幸昇さん

畜産関係者の方々をはじめ、皆様のご協力により、全国の舞台に立つことができます。鹿児島の地で人牛一体がんばります。

第6区 (総合評価群・種牛群) 出品者

栗原市 狩野 幸夫さん

10月古希を迎えます。人生の一ページとなりますよう皆様のご協力に感謝し、上位入賞を目ざし頑張ります。

第6区(総合評価群・種牛群) 出品者**栗原市 菅原 良信さん**

初めての全共となりますが、栗原地域の皆さんはじめ沢山の御協力ありがとうございました。

第6区のチーム4頭が一丸となり上位入賞めざして頑張ります。

第6区(総合評価群・肉牛群) 出品者**登米市 金野康さん**

前回の宮城大会に続き、2回目の出品となりますが、前回大会以上の成績を残せるよう頑張ります。

第6区(総合評価群・肉牛群) 出品者**栗原市 鈴木 教一さん**

第6回大分大会、第9回鳥取大会に続き、3回目の出品となります。

仙台牛が大躍進を遂げるよう頑張ります。

第6区(総合評価群・肉牛群) 出品者**登米市 村田 敏顕さん**

関係機関の方のご指導と地域の方々のご協力のおかげで初めて全共に出品することになりました。

上位入賞目指し、頑張ります。

第7区(脂肪の質評価群) 出品者**大和町 有限会社根本ファームさん**

宮城県代表として、上位入賞目指し頑張ります。

第7区(脂肪の質評価群) 出品者**角田市 合資会社ばば農場さん**

前回、宮城全共に続き2回目の出品になります。

和牛の本場、九州・鹿児島開催なので、大会まで気を抜かず上位入賞出来る様頑張ります。

第7区(脂肪の質評価群) 出品者**川崎町 株式会社ライフルファーム菅生さん**

前回大会は悲傷に悔しかった。

チャンスを頂きましたので、最後まで手を抜かずに挑戦します。

第8区(去勢肥育) 出品者**大崎市 菅野 豊博さん**

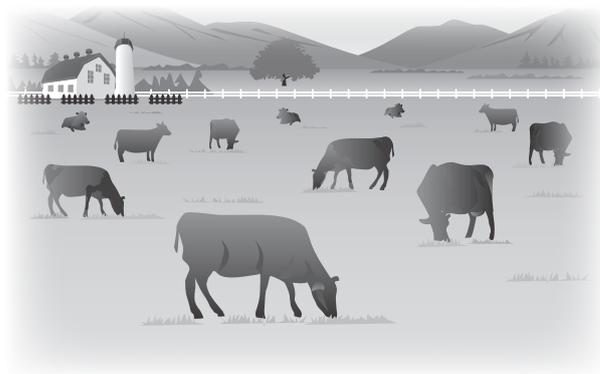
ここまで、沢山の方にご協力をいただき感謝しております。

県代表というプレッシャーを感じておりますが、選抜にもれた人の思いも背負い、上位入賞目指し、宮城の畜産と「仙台牛」の発展に繋がりたいと思っております。

残り期間わずかではありますが、最後まで頑張ります。

特別区(高校及び農業大学校) 出品者**美里町 宮城県小牛田農林高等学校**

全農みやぎの皆さんやみどりの育種組合、地域の農家さんのご協力のおかげで県代表となり、鹿児島に立つことができます。上位入賞をし、恩返しができるように頑張ります。



こだわり県産たまご・豚肉活用商品販売会のご案内

宮城県農政部畜産課

宮城県では、意欲ある中小規模の養豚・採卵養鶏生産者を支援し、畜産の労働生産性向上・食品産業との連携強化による持続的な地産地消を推進するため、4月より「多様で特色ある県畜産物の生産消費促進事業」を実施しています。

県庁ロビーで開催するこだわり県産たまご・豚肉活用商品販売会の出展者を募集しています！

皆様が心をこめて生産している畜産物を県庁で販売してみませんか？

出展が可能な事業者は、精肉店やパン屋、惣菜販売などの飲食事業者のほか、

6次化している生産者、卵の直売をしたい生産者も大歓迎です！

お取引先のお店へもぜひお知らせください。皆様のご応募をお待ちしております。



※販売可能商品のイメージ

＜出展できる商品＞

鶏卵・豚肉のうち、

- ①宮城県内で生産される独自銘柄畜産物やそれを活用した加工食品
- ②宮城県内の生産者や生産農場を明記している畜産物や加工食品

＜出展を募集する開催日程＞

次の①～⑥の期間のうち、原則3日間の開催とします。もちろん、複数回の出展も可能です。

(※応募多数の場合は、調整することがあります)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| ① 8月29日(月)～8月31日(水) (受付終了) | ④ 12月14日(水)～12月16日(金) |
| ② 10月5日(水)～10月7日(金) | ⑤ 1月16日(月)～1月18日(水) |
| ③ 10月17日(月)～10月19日(水) | ⑥ 2月13日(月)～2月16日(木) |

出展商品や出展者が条件を満たす場合には、次の補助金を活用することも可能です！

＜消費促進活動支援メニュー＞

継続的な地産地消のためには、目に見える販売実績と消費者へのPRが大切です。

販売会で県内独自銘柄畜産物等を販売する場合に、出展経費を補助します。

本県庁ロビーでの販売会に出展される場合は、優先的に採択されます！

- 【対象者】 県内の中小規模食品販売事業者、自ら販売する養豚・採卵養鶏生産者
 【補助額】 補助率1/2・補助事業者1件あたり事業費上限300千円（最大補助額150千円）
 【事業対象費】 冷蔵・冷凍ショーケースレンタル費用、マネキン雇用費、搬送費等
 【問合せ先】 農政部畜産課生産振興班

※販売会や補助金について、詳しくは畜産課HPをご覧ください。畜産課までお問い合わせください。

～～補助事業の募集等、本事業の情報は、県畜産課HP（以下URL）にて随時公表しています～～

畜産業 <https://www.pref.miyagi.jp/life/7/79/index.html>

(生産振興班 山崎保奈美)

〈畜試便り〉

宮城県養豚研究会令和4年度第1回研究集会開催報告

宮城県畜産試験場

令和4年8月5日、宮城県養豚研究会（事務局：宮城県畜産試験場）主催による令和4年度第1回研究集会を開催しました。リモートでは40名の参加、大崎市立図書館に設置したスクリーン会場では8名の参加があり、盛会裡に終了いたしました。

今回の研究集会では、輸入飼料の価格高騰が継続しているなか、飼料コストを削減する手法について意見交換を行うことを目的として、「飼料用米の活用について考える」をテーマに、株式会社高清水養豚代表取締役社長の邊見優洋先生と、鯉淵学園農業栄養専門学校教授の高田良三先生よりご講演いただきました。

まず、邊見先生から、株式会社高清水養豚における飼料用米給与の概要と、その効果や課題について講演いただきました。飼料用米利用の効果として、①売上げ②費用③持続性の3つの観点から説明されました。売上げにおける効果としては、肉締まりや脂の色味、食味が改善したことにより、枝肉格付の改善や消費者の購入意欲の促進につながり、売上げの向上に貢献した一方で、脂が割れることによる商品価値の低下が一部みられ、飼料用米を配合することで脂が固くなることに関係しているのではないかと述べられました。費用面での効果としては、国産飼料用米の利用は、トウモロコシのように海外情勢の影響を受けにくく、安定感が得られる一方で、飼料用米加工施設整備の初期投資や維持費が必要であるとのこと、また持続性の面では、米は栽培技術が確立された作物で最も安定して入手可能な穀物である一方、飼料用米利用の取引上、柔軟な利用がしにくい側面もあるとのことでした。今後、飼料用米給与を継続していくためには、耕種農家、畜産農家、飼料メーカー間の連携を強化し、飼料用米の魅力を増大させる必要があり、そのための体制整備が重要であるとまとめられました。

次に、高田先生から、飼料用米の持つ優れた栄養機能やこれまでの研究成果について解説いただきました。まず、トウモロコシを全て飼料用米に置き換えた飼料を用いた給与試験の結果では、飼料用米の給与は日増体量を増加させ、小腸膜酵素活性やタンパク質蓄積を亢進させることで、良好な発育に貢献することが示されました。また、乳成分の配合割合を一般の飼料より減らした飼料に、飼料用米を配合した飼料を給与した結果、子豚はトウモロコシを配合した場合と比較して良好な発育成績を維持することが示され、飼料用米の栄養価が優れていることを強調されていました。一方、飼料用米の品種や加工処理の違いにより栄養価や消化率が異なり、飼料用米の配合割合を高めるほどその影響は強くなるため、注意する必要がある、と述べられました。

総合討論では、飼料用米を配合することで脂が固くなることでの影響について質問があり、邊見先生からは、頻度は高くなかったものの脂が割れることはあり、テーブルミートとしての価値がなくなるため注意が必要、との回答をいただきました。また、飼料化施設の経年劣化への具体的対応について質問があり、邊見先生からは、年に一回の定期点検及び月に一回のグリスアップを行っているが、粉碎機への負荷が大きいことが課題で、飼料原料として利用する上で粉碎工程は重要な部分であることから、改善の余地があるとの回答をいただきました。

なお、次回は令和5年3月の開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

(種豚家きん部 庄司 宙希)



令和5年度宮城県農業大学校入校生を募集（一般入校試験前期）

宮城県農業大学校

本校は、農業の近代化と経済社会の発展に対応できる、高度な知識・技術を身につけ優れた農業経営者と農村地域の指導者を育成することをねらいとして、昭和52年4月に「宮城県農業実践大学校」として設立され、平成20年7月には専修学校の機能を付加し、平成21年4月に校名を「宮城県農業大学校」に変更しました。

下記により、令和5年度の一般入校試験（前期）が行われますので、多数の出願をお願いします。

記

- ◇募集人員（推薦入校試験分を含む）
畜産学部15名、水田経営学部15名、園芸学部15名、アグリビジネス学部10名
 - ◇受験資格 高等学校卒業者（令和5年3月卒業見込みの者を含む）又はこれと同等以上の学力があると認められ、本県農業の振興に貢献する意欲がある者
 - ◇募集期間 令和4年11月3日（木）～令和4年11月18日（金）（当日消印有効）
 - ◇試験日時 令和4年12月2日（金）午前8時45分～
 - ◇合格発表日 令和4年12月9日（金）午前10時
 - ◇試験場所 宮城県農業大学校名取教場
 - ◇試験科目 ①筆記試験 国語総合（60分）、数学Ⅰ（60分）、小論文（60分 800字）
②面接試験 個人面接（15分程度）
 - ◇専修学校のメリット
 - ①卒業生に「専門士（農業専門課程）」の称号が付与されます。
 - ②卒業生は、4年制大学の3年次への編入学試験の受験が可能となります。（編入試験実施の有無については、希望する大学に確認してください。）
 - ◇奨学金等支援制度
 - ①本校を卒業後、宮城県内での就農を予定されている方は、公益社団法人みやぎ農業振興公社奨学金の申請ができます。
 - ②本校を卒業後、就農を予定されている方は、国の事業である就農準備資金の申請ができます。
 - ③独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。
- ※上記①～③の奨学金等の採択に当たっては一定の要件を満たす必要があります。
入校試験・奨学金等についての詳細は、宮城県農業大学校教務部学生班・教務班
（電話022-383-8138）までお問い合わせください。

〈農業大学校生の抱負〉

仙台牛生産者になる心意気

宮城県農業大学校畜産学部
2学年 鈴木 未来翔



私は大崎市古川の出身です。自宅では和牛の肥育経営を行っており、現在約100頭ほど飼育しており、「みやぎ美らいす和牛」という宮城県を代表する和牛を生産しております。「みやぎ美らいす和牛」とは、宮城県産の飼料用米を蒸して発酵させたものを給餌した和牛のことです。蒸して発酵させたお米を給餌することによって、脂の質の向上が期待され、風味と旨味が増した牛肉になります。先日行われた、仙台中央卸売市場食肉市場業務開始47周年記念枝肉共進会和牛牝の部で我が家で出品した牛が名誉賞をいただくことができました。この場をお借りしまして家族一同感謝申し上げます。

現在私は、卒業論文に力を入れながら農大生活を送っています。内容としては、牛肉の「オレイン酸」をテーマとしたプロジェクトを行っています。オレイン酸とは、動物性脂肪や植物油に多く含まれる脂肪酸で牛肉の「おいしさ」に関連しています。

なぜオレイン酸について調べようと思ったかという、生産者側も消費者の目線で食肉を評価する時代になってきており、消費者が求めるものを生産することが求められてきます。その中でもオレイン酸を重視した牛づくりが必要なのではないかと考えたからです。これまでに、食肉市場業務開始47周年記念枝肉共進会、第67回東北牛匠会枝肉共進会の2つの大きな共進会で、宮城県畜産試験場肉牛チームが行っている、枝肉のオレイン酸の計測に同行し、オレイン酸計測の手伝いをさせていただきました。どちらの共進会でも素晴らしい枝肉を見させていただきました。今後も大きな共進会があるので、試験場のサンプリングに同行させていただきます。12月に行われるプロジェクト課題の発表会では、良い発表が行えるよう準備を進めていきたいと思っています。

将来、私は就農したいと考えております。就農後はプロジェクトの成果を活かし、共進会で素晴らしい成績を取られる存在になっていきたいと思っています。

〈衛生便り〉

高病原性鳥インフルエンザの発生予防に向けて
～飼養衛生管理基準の遵守徹底を～

宮城県北部家畜保健衛生所

高病原性鳥インフルエンザは、A型インフルエンザウイルスの感染による家きんの病気です。伝染力の強さと高い死亡率を示し、ひとたびまん延すれば、養鶏産業全体に甚大な影響を及ぼすことから、特定家畜伝染病に指定されています。

昨シーズンでは、11月から本年5月までに、12道県25事例の発生が確認され、約189万羽の家きんが殺処分となりました。4月以降にも8件の発生が確認され、うち2件はこれまで発生がみられなかった5月の発生事例となったことから、渡り鳥の移動が続くゴールデンウィークの期間も警戒を継続する必要があります。

本県では、本年3月25日に肉用種鶏を約3.2万羽飼養する養鶏場にて発生が確認され、同月28日に殺処分及び清掃・消毒による防疫措置を完了しました。

本病の感染経路は、渡り鳥によって海外から持込まれ、野鳥や野生動物を介して鶏舎内にウイルスが侵入するものと考えられています。そこで、発生予防のため、今年度も引き続き飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします。なかでも、以下の対策が重要です。

【対策】

- ① 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等
- ② 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- ③ 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等
- ④ 家きん舎に立ち入る者の手指消毒等
- ⑤ 家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用
- ⑥ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕
- ⑦ ねずみ及び害虫の駆除

今シーズンの渡り鳥の飛来に備え、飼養衛生管理基準のチェックシートを使って、今のうちから不備な点はないか点検・修繕をしておきましょう。

なお、死亡率の増加など異常が認められた際には、最寄りの家畜保健衛生所や畜産振興部にご連絡ください。
(防疫班 真鍋 智)

〈New face〉

NOSAI宮城 中央家畜診療センター
笠島 総司

初めまして。今年度より宮城県農業共済組合の所属となりました笠島総司と申します。出身地は神奈川県ですが、出身大学は北海道の酪農学園大学です。夏休みに父とドライブをした際に東北の景色に惹かれ、宮城県での就職を決意しました。中学、高校と乗馬クラブに通っていたこともあり、初めは馬を診療する獣医師を志していました。しかし、大学在学中に牛の魅力に惹かれ、農業共済組合の獣医師への道を志しました。

趣味はボルダリング、ドラム、ボードゲーム、将棋等です。アパートはクライミングジムの近くにある場所を選んだので、休日のリフレッシュには困りません。また、4月にバンドを組んだので、時間があれば自宅で練習をしています。その他にも、地域の特産物や料理を食べるのが好きなので、情勢が落ち着いた頃に市外を観光したいと考えています。

職場の先輩方は親切で話しやすく、楽しみながら技術面等を御指導頂ける今の環境に有難みを感じる日々を過ごしています。診療業務に必要なスキルを身に付ける事で一杯一杯の毎日ですが、一日でも早く農家さんのお役に立てるよう精進します。公私共に充実した生活を過ごせたらと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

NOSAI宮城 県北家畜診療センター

柴崎 久宣



初めまして。令和4年4月より、宮城県農業共済組合・県北家畜診療センター配属となりました、柴崎久宣と申します。出身は千葉県です。出身大学は麻布大学で、大学においては有機化学を専攻し、天然の化合物を構造解析して薬の候補となるものを探す化学実験をしていました。

農業共済への就職は、地方での獣医師不足が叫ばれている中、たまたま求人が目に止まったからでした。当初は大動物で仕事することに強い興味があるわけではありませんでした。しかし働いている中で、段々と面白さがわかってきて、意識が高まってきました。そうしたことを受け、休日に市場へ行き、農家様が何を求めているかなど、深く考えるようになりました。また、農家様、農業共済の諸先輩方には、大変優しく御指導いただき、感謝の念を持って、日々仕事をさせていただいています。

私は10年間、宮城県柴田町の工場で働いていました。東北の大震災をきっかけにして、勉学をしてみようと思い立ち、大学に入学しました。このような経歴を持っているので、道具作成をしたり、プログラミングをしたりするのが得意です。これら獣医学と工学の分野の知識を合わせて組織に貢献するとともに、新たな知識を身に付け、農家の皆様の力になれるように精一杯がんばります。よろしくお願いたします。

.....

NOSAI宮城 県南家畜診療センター

庄子 潤



初めまして。今年度から宮城県農業共済組合で働かせていただくことになりました庄子潤です。

出身地は宮城県仙台市です。宮城県は地元であり、山や海が豊かなところや食べ物が美味しいところ、何より住みやすい環境が整っているため地元就職したいと思っていました。

出身大学は北海道にある酪農学園大学で、ハードヘルス学研究室に所属していました。酪農学園大学構内では牛が飼養されています。そのため実習や研究室における繁殖検診やMPTなどにより触れ合う機会が多く、また外部の農場にも伺う機会があり採血や牛群管理の勉強を行える機会があったために牛に興味を持ち、将来的に大動物診療に携わりたいと思っていました。その後NOSAI宮城の実習を体験し、牛自体の面白さや先生方の仕事に対する熱意や職場環境など、自分自身が大動物診療に対して成長できると思いNOSAI宮城を志望したいと思いました。実際にNOSAI宮城に就職し、獣医師として至らないところが数多くあり、特に技術的な面で人工授精やエコー検査、補液などなかなか上手くいかないことがたくさんありますが、多くの方に支えられていることを日々実感しています。

獣医師として今年度から働きはじめ、右も左もわからない状態ですが、一日でも早く一人前の獣医師として働けるように勉強していくことはもちろんのこと、人としても成長していけるように日々努力していきたいと思えます。皆様に信頼していただける獣医師になれるように頑張りますので、これからもどうぞよろしくお願いたします。

公益社団法人みやぎ農業振興公社
畜産振興部 岩出山牧場
技師 佐竹 青空



はじめまして。今年度新規採用して頂きました、畜産振興部岩出山牧場の佐竹青空と申します。今年の3月に宮城県農業大学校畜産学部を卒業し、4月より技師として勤務しております。

私の出身は登米市です。実家は畜産農家では無く、小牛田農林高校に進学したことをきっかけに畜産について興味を持ち、畜産従事者を志すようになりました。高校1年生の時に宮城県で開催された全国和牛能力共進会への取り組みに参加させて頂いたことや、2・3年生の時に和牛甲子園へ出場したこと、授業では畜産を専攻して日々の飼養管理をしたこと。すべてが畜産農家ではない私にはとても新鮮で楽しく、とてもやりがいを感じました。このような経験を通して自然と和牛と関わる機会が多くなり、和牛の魅力を知りました。ここから本格的に畜産について学びたいと思い、農業大学校畜産学部に進学することを決めました。

そして進学先の農業大学校では、畜産試験場でより専門的な知識や技術を学び、農家さんの元での研修を通して、家畜との関わり方や和牛の奥深さ、畜産の重要性を教えて頂きました。このような経験を通して、より畜産に携わりたいと強く感じました。

実際に自らが担い手となることはできませんでしたが、岩出山牧場で種雄牛の検定や優良肉用子牛の生産・配布、預託事業等を通して、宮城県の畜産振興に僅かでも貢献していきたいと思っております。そのために、これまでたくさんの方々から教えて頂いたことをしっかりと心に留め、みやぎ農業振興公社の一人として日々の飼養管理等、一生懸命努めて参りますのでよろしくお願い致します。

公益社団法人みやぎ農業振興公社
畜産振興部 白石牧場坪沼農場
技師 一戸 沙来



はじめまして。今年度4月よりみやぎ農業振興公社畜産振興部白石牧場坪沼農場に配属となりました、一戸沙来と申します。出身は宮城県仙台市で、令和4年3月に宮城県農業大学校畜産学部を卒業しました。

実家は非農家ではありますが、幼い頃から動物とふれあうことが好きだったため、農業高校では主に養豚について学習していました。その後はより専門的な知識・技術を身につけることができる宮城県農業大学校へ進学し、先進農業体験学習では酪農家さんのお宅にお世話になり、乳牛の飼養管理や搾乳技術を教えていただきました。実際に作業をさせて頂いたことで、畜産に携わる仕事がしたいという思いがより強くなりました。家畜について幅広く学びたかったこともあり、豚と乳牛ときたら次は和牛！という考えで専攻は肉牛を選びました。毎朝の実習で乳牛と和牛の管理の違いを知ることができ、充実した学生生活を送ることができました。

現在所属している坪沼農場の畜産部門では、乳牛・和牛・豚を飼育しています。そのため、学生時代に幅広く学んできたことを少しでも役立てることができればと思っています。また、宮城大学の学生実習や野菜部門のお手伝いなども行うことがあり、毎日新しいことを学べて新鮮な気持ちで業務を行うことができます。直腸検査なども徐々にさせて頂いているので、今後は人工授精も行えるよう実践経験を積んでいきたいです。まだまだ至らぬ点も多くありますが、日々できることを増やし精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

一般社団法人宮城県畜産協会 新役員のお知らせ

令和4年第67回通常総会、臨時総会、理事会において役員が選任され、以下のとおり就任いたしましたのでお知らせいたします。

職名	氏名	所属	備考
1 会長	佐々木 琢 磨	宮城県農業協同組合中央会 会長	新任
2 副会長	橋 本 和 博	宮城県農政部 副部長	新任
3 常務理事	山 田 文 彦	学識経験者	
4 理事	保 科 郷 雄	丸森町 町長	
5 理事	田 中 學	大郷町 町長	
6 理事	大 友 良 彦	全国農業協同組合連合会宮城県本部 本部長	
7 理事	江 畑 正 徳	(公社)みやぎ農業振興公社 理事長	新任
8 理事	渡 邊 清 博	(公社)宮城県獣医師会 会長	
9 理事	大 友 正	宮城県牛乳協会 会長	新任
10 理事	伊 藤 一 成	みやぎの酪農農業協同組合 代表理事組合長	
11 理事	大 内 一 也	新みやぎ農業協同組合 代表理事組合長	新任
12 理事	工 藤 義 也	加美よつば農業協同組合 代表理事組合長	新任
13 理事	佐 野 和 夫	みやぎ登米農業協同組合 代表理事組合長	
14 理事	松 川 孝 行	いしのまき農業協同組合 代表理事組合長	
1 監事	品 川 忠 夫	宮城県農業共済組合 組合長理事	新任
2 監事	舟 山 健 一	みやぎ仙南農業協同組合 代表理事組合長	
3 監事	横 山 亮 一	(株)宮城県食肉流通公社 代表取締役社長	

なお、下記の役員が退任されましたことを併せてお知らせいたします。

会 長	高 橋 正
副 会 長	金 須 豊 洋
理 事	寺 田 守 彦
理 事	田 中 智 之
理 事	大 坪 輝 夫
理 事	松 本 憲
監 事	佐 藤 敬

価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）の交付金単価

(単位：円)

販売月	肉専用種（宮城県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和4年4月 (概算払) 精算払	—	—	(32,558.7円) 39,903.3円
5月 (概算払) 精算払	—	—	(36,066.9円) 42,264.9円
6月 精算払	—	30,939.3円	43,892.1円

※令和3年7月以降の概算払いは、配合飼料価格安定制度の発動状況を加味し、算定額から6,000円を差し引いた額の振り込みとなります。(これまでは4,000円)